# 【第1号議案】2023(令和5)年度 事業計画案 (別紙参照)

### 展示事業

#### 「概略]

年間の開館日は239日間、休館日は127日間。展示替えのための休館日は、21~28日間を充てたい。2023(令和5)年度は、4月12日から企画展示3本と常設展示3本を計画(詳細は「別紙1」参照)。企画展示については紹介文化人の地元顕彰館もしくは顕彰団体と連携しながら、準備を進めていきたい。来館者については、感染流行前に近づくであろうとの予測のもと、入場者目標数は、当館での過去の類似企画展を参照して、それらよりも少し目標値を高く設定した。

### イベント事業

#### 「概略]

2023 (令和 5) 年度は企画展示の関連事業として、展示協力者や顕彰館、関連団体などからゲストを招いて講演会など年間数本を予定。

# 調査及び研究・研修事業

#### [概略]

調査及び研究については、展示室内で紹介している文化人を中心とした基礎データを基に、データベース整備を継続している。郷土史家から協力いただき、埋もれている文化人の調査を進めている。2023(令和5)年度は他館と共同で文人の資料調査にあたる予定。これにより、当館展示内容の改良や、職員の学びの機会となることを期待したい。

#### 教育普及事業

# [概略]

これまでと同様に、企画展示の解説会を複数回行う。

また、2022 (令和 4) 年度の開志専門職大学アニメ・マンガ学部の臨地実務実習生の受け入れを継続する。

「にいがた偉人かるた」(2018 [平成30] 年作成)と副読本をあわせた出前授業など学校活用の仕組みづくりを進めたい。

# (1) 学芸員等による作品解説会(約1時間)

企画展示の会期中、全3回の作品解説会を予定。2019(平成31・令和元)年度までの「月いちレクチャー」と同様、解説会開催によるリピーターと新規顧客増を期待する。

# (2) 実習生の受け入れ

2022 (令和 4) 年度に続き、開志専門職大学アニメ・マンガ学部の臨地実務実習の実習生3名を受け入れる。8週間にわたり、館運営や展示内容について学びながら、館で紹介している文化人の四コマ漫画を作成してもらう。

#### (3) 外部講演など

教育機関や各種団体の要請により、職員が対応する。外部講演時に企画展示の PR や、副読本や相関図、かるた等の販売も実施したい。

### (3) 副読本を活用した講演会、出前授業など

2017 (平成 29) 年度に副読本『みんなで伝えよう にいがた文化の記憶』(2015 [平成 27] 年7月発行) PR 用に文化人似顔絵パンフレット (A3 二つ折り、カラー)を作成した。2022 (令和 4) 年度中に公益財団法人日本教育公務員弘済会新潟支部の助成により印刷したパンフレットは2023 (令和 5) 年度の新中学1年生に配布予定。

2018 (平成30) 年度に作成した「にいがた偉人かるた」と副読本を使用して、新潟の人の文化を知るための出前授業を計画し、校長会などでPRしていきたい。

2015 (平成 27) 年度から新潟県立教育センターの既存キャリア教育推進事業「学ぼう新潟の知恵」の派遣講師(『知恵伝』) に学芸員が登録。学校の要請に応じて副読本を活用した出前授業に対応する。

# 連携・交流事業

### [概略]

県内顕彰館または顕彰団体の出張展示への参加を促したい。出張展示では、各館 単体では難しい展示や広報等のサポートをしていきたい。2022(令和 4)年秋に始 めたツイッターなど SNS も活用して、多様なアプローチで県内顕彰施設および団 体との連携を強化していきたい。

### (1) 第7回にいがた文化ネットワーク協議会の開催

2022 (令和 4) 年度末に第 6 回にいがた文化ネットワーク協議会を開催した。館長、事務局長が新任のため、「地域・学校との連携―取り組みの現状と課題」をテーマとして意見交換会となり、各館の教育普及事業の現況を話してもらった。各施設、団体とも感染禍で運営が大変であったため、出張展示への参加を促すまでは出来なかった。2023 (令和 5) 年度の第 7 回ネットワーク協議会で協議し、連携を強化していきたい。

### (2)機関誌「にいがた文化 第9号」の発行

2022 (令和 4) 年度の「にいがた文化 第 8 号」は 8 ページ減の 16 ページ構成で、2023 年 3 月中旬に完成(広告掲載企業は 20 社 24 コマ)。2023 年度の「にいがた文化 第 9 号」でも当館の事業報告と県内顕彰施設や団体が実施する翌年度の催事紹介、広告掲載などを予定。

# 顕彰人物選定委員会

#### 「概略〕

2023 (令和 5) 年度も県内出身またはゆかりの文化人基礎データ構築作業を続ける。顕彰人物選定委員会の立ち上げや発足については、顕彰候補人物が増えて、データ構築が進んだ段階で、発足を目指したい。

### 【参考資料】

別紙1「2023(令和5)年度事業計画案(詳細)」

別紙2「2023(令和5)年度 にいがた文化の記憶館 企画展示スケジュール・開館カレンダー」